



《東京都中学校長会》

令和元年9月12日（木）

9月 会長だより

（地区代表者連絡会）

会長 酒井 泰

## 1 挨拶

今年の夏は、夏季休業日前の涼しさから一転、例年通りの厳しい暑さが続き、各地から記録的な猛暑の便りが届きました。各学校におかれましては、部活動や夏季プール指導等への熱中症予防の対応に追われたことと思います。また、豪雨や台風による自然災害も多く発生した夏でした。特に今週のはじめは台風15号の直撃を受け、各学校は緊急対応を迫られたことと思います。自然災害への対応を含めた万が一の備えというものは、教職員一人一人の意識を高め計画的に取り組まないと十分なものとはなりません。学校のおかれた状況に応じた備えができているか、再度点検する必要があることを強く感じました。

さらに、中学校の喫緊の課題の一つに「SNSの利用によるトラブルの防止」があります。夏季休業中は、生徒の状況把握が難しくなりますので、問題が大きくなってから学校側に情報が入り、厳しい対応を迫られるケースもあると思います。生徒に問題の本質とその影響の大きさを理解させ、自らの行動を律する力を身に付けさせることが求められています。各学校では、夏季休業前及び夏季休業後に様々な指導の機会を設定し、指導を徹底されていると思いますが、粘り強い取組の継続と指導の充実を図っていかねばならないと思います。

さて、夏季休業日中、各学校では補充教室、面談、水泳指導、宿泊行事や地域行事、部活動、夜間パトロール等に多くの先生方が関わり、生徒の学力向上と健全育成にご尽力いただいたと思います。また、都教職員研修センターや、各地区教育委員会、研究団体等が主催した研修会に参加され、研修を深められた先生方も多いと思います。今夏は学校閉庁日を設ける地区が昨年度以上に多くなり、併せて留守番電話対応などの学校業務の改善を本格的に推進する地区も増えてきたようです。学校と家庭・地域の役割の見直しや、業務の効率性を図る取組等をさらに充実させることにより、働き方改革が一層進むことが期待されています。

今年度も本会では、夏季休業中も各種関連団体との連携を深める活動を行ってまいりました。副会長の皆様方にも協力いただき、諸会合にも出席いたしました（学年・学級経営研究会全国大会、東京都へき地教育研究協議会総会、東京都退職校長会五団体との教育懇談会、東京都教育管理職員協議会教育懇談会など）。また、7月の地区代表者連絡会でご検討いただいた中学校教育関係要望書を、千葉教育対策部長とともに東京都教育庁総務部、都議会各会派に提出いたしました。特に、教員の働き方改革を推進するためにも、中学校講師時数算定基準の見直しや改定を重点事項として要望してまいりました。教員の週の持ち時数削減は、以前から要望事項として取り上げてきた内容ですが、十分な改善には至っていません。今年度から「新たな時数軽減モデル校」という新たな取組が実施されていますが、今後も東京都教育庁をはじめとする関係機関と連携を深めながら、要望の実現に向け努力していきたく思います。

夏季休業を終え、まだまだ今年度の半ばを過ぎたところではありますが、人事考課の中間ヒアリングとともに次年度の人事構想を練り上げていく時期でもあります。また、教育課程に関わる様々な計画申請の時期も目の前に迫ってきました。夏季休業中にも本会として為すべきことを着実に進めてきたところです。これまで様々な活動に気持ちよくご協力くださった関係者の皆様に心より御礼申し上げるとともに、これからも本会の活動を活性化し、教育環境の整備に向け努力してまいります。

## 2 当面の課題

### (1) 令和2年度人事に向けて

9月中旬から、各地区では令和2年度の人事異動に向けた地区の異動説明会が予定されていると思います。夏季休業後の活動が始まったばかりといえ、人事については次年度に向けた動きが始まってきています。ベテラン教員の定年退職に伴う大量退職は、まだ続く傾向にあると思われます。このことを踏まえ、東京都教育庁では「70歳まで働こうキャンペーン」が展開され、新たな制度として「会計年度任用職員」が導入されることになっています。これにより65歳を超えても働くことができる職（産休代替教職員・非常勤教員・時間講師など）が増え、人事構想にも新たな視点で臨まなくてはならないと思います。

人事考課に伴う中間ヒアリングも9月の中旬から予定されていると思います。校長選考・管理職候補者選考の発表も昨日ありました。選考及び人事異動に関わる課題等にも情報を密にしていきたいと考えています。どうかよろしくお願いいたします。

## (2) オリンピック・パラリンピック教育の推進に関する動き

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催まで1年となり、各学校では様々な指導や取組がなされていると思います。今週に入り、生徒の競技観戦の具体的な日程等が示されました。実際に引率するに当たって確認しなければならないことも多々あると思います。また、中学生高校生のボランティア体験の募集も始まります。具体的な内容については、区市町村教育委員会を通じてになると思いますが、本会としても東京都教育庁とも緊密に連携して、生徒の安全を確保することを第一に、有意義な取組となるように支援していきたいと思います。

## (3) 都中体連事務局の存続に関する課題

都中体連とともに取り組んできました、都中体連事務局の存続に関する課題については、7月に都市教育長会、特別区教育長会で今後の都中体連の在り方に関する説明の機会をいただき、平本都中体連会長とともにお願いにあがりました。今後とも中学校の運動部活動の運営が円滑に行われる環境が整うよう、都中体連及び教育長会等と連携してまいります。

## 3 連絡・報告事

### (1) 令和2年度に向けた動き

#### ① 都教育庁・政党への「令和2年度 中学校教育関係要望書」の提出

教育対策部を中心に作成いただいた「令和2年度中学校教育関係要望書」を7月24日に教育庁総務部に提出しました。また、東京都議会各会派には、日程の関係もあり7月24日の共産党を皮切りに、8月1日に都民ファーストの会、8月2日に公明党、8月23日に立憲民主党・民主クラブを訪問し、内容説明を行いました。また、自民党については指定の書式の要望書を作成し送付しました。特に、働き方改革との関連から、講師配当の算定基準ともなる、教員標準授業時数の見直しに関する意見交換が多くなされました。

#### ② 教育長会への「令和2年度 東京都中学校長会会費の予算化について」の提出

5月17日に都市教育長会会長 多摩市教育委員会教育長 清水 哲也 様、6月25日に特別区教育長会会長 板橋区教育委員会教育長 中川 修一 様、6月27日に町村教育長会会長 奥多摩町教育委員会教育長 若菜 伸一 様を訪問し、「令和2年度 東京都中学校長会会費の予算化について」を提出しました。各地区の校長会からも次年度の東京都中学校長会会費等の予算化について、各地区教育委員会への協力要請をお願いいたします。

### (2) 各部・委員会からのアンケートへの協力

#### ① 研究部調査

夏季休業中に、研究部からの調査アンケートへご協力いただきました。9月5日現在で98%の回収となっています。今後100%となるよう確認作業を進めてまいります。このデータを基に、11月の研究大会の発表に向け、研究部にて分析・研究を進め、成果を発表いたします。各学校の校長先生方のご協力で御礼申し上げます。

#### ② 生徒指導部調査

今月中旬から生徒指導部の調査を実施いたします。秋の学校行事等で各学校ともお忙しい時節と思いますが、本調査にもご協力をお願いいたします。